

一ノ関駅東口工場跡地利活用コンセプト(案)に対するご意見の概要及びご意見に対する考え方

パブリックコメント募集期間：令和7年4月16日（水）から令和7年5月9日（金）まで

ご意見数：20件（4人、1団体）

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>1 ページ 3 配置する機能 コンセプトに記載されている内容が、再開発されている他の地域や、既に人口が集約している都市部で実施している取組との違いがないため、一関市ならではの魅力が表現できないと思う。 都市部にも他の地域にもない、一関に行かないと体験できないものをコンセプトに掲げ、魅力あふれる場所にしていきたい。</p>	<p>ご提案いただいた内容は、コンセプト中の「心揺さぶられる体験や出会いによる賑わい創出」、「市内で生産される農畜産物、工芸品などの特産品や岩手県南、宮城県北の産地直送品の取扱い」の表現の中に含まれていると認識しており、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地活用計画作成時の参考にさせていただきます。</p>
2	<p>2 ページ 3 配置する機能「賑わい創出機能」 「一ノ関駅東口工場跡地 利活用構想案の概要」に建設投資90億、消費支出(年間)78億円とあったが、近年の物価高による建設負担や経済効果について公表してほしい。 若い世代に一関に残ってもらえるようにカルチャー産業では、IT企業の誘致を行い、県南版県立児童館都市型いわての子どもの森、県内木材を使った遊具や玩具でと親同士が子供見守りながら交流できるカフェを設置してほしい。 観光客を誘致するため二戸駅舎に隣接する二戸広域観光物産センターと展望台のように、一ノ関駅に一関市周辺と三陸周辺のお土産や地産地消型レストランが利用できる施設を整備してほしい。 また、一関市が力を入れている外国人労働者の受け入れ拡大により定住している外国人の食生活を改善する為、海外の食品、調味料、レトルト食品、冷凍食品を扱うKALDI、無印良品を誘致してほしい。</p>	<p>「賑わい創出機能」について、コンセプトでは、「賑わい」を商業活動による経済的な賑わいと、人が集い、交流することで生まれる賑わいがあると記載しており、屋内型の子供の遊び場や特産物の展示販売などを整備を検討しております。 ご提案いただいた具体的内取組については、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地活用計画作成時の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>1 ページ 1 このコンセプトは 1-1 段階的な土地開発のメリット 市の構想を統一するテーマとして「ドリームアートタウン一関」を掲げてはどうか。</p>	<p>土地利活用テーマの案は「子ども・若者世代をはじめ、地域の人々が様々な人や企業と関わりながら成長し、市内で活躍できるまちの実現へ」を掲げ、その空間・機能として「豊かな感性を育む」と記載しており、ご提案いただいた内容はこの表現の含まれていると認識しております。</p>
4	<p>1 ページ 1 このコンセプトは 1-2 新たなイノベーションが持続的に生まれる場所「カルチャー産業」 一関市の文化との融合を意識しての表現なのか、カルチャー産業の内容を分かりやすく説明してほしい。</p>	<p>カルチャー産業について、以下のような技術を持つ個人・法人の集積、新たな産業の創出によるイノベーションが期待できると考えております。 ① ファッション・アート・デザイン・音楽・ダンス・ゲーム（eスポーツ）などに関する産業創出 ② デジタル技術を実装した一関市（および平泉町を含む周辺地域）の魅力創出 ③ デジタルミュージアム、アーティスト等の表現の場、工業デザイン、カルチャー発信を支える先進テクノロジー（表現へのAI利用、AR、VR技術など）を持つスタートアップの集積 ④ 歴史・風土・文化と結びつく観光・ツーリズム商品の開発 ⑤ 伝統文化・芸能の発信による地域の魅力向上</p>
5	<p>1 ページ 1 このコンセプトは 1-3 一体的・機能的・歩行者優先の土地開発 【ウォークアブルな敷地】 プロムナードの景観を重視してほしい。 例として噴水や水辺、並木道、植物園、現代美術作品群、屋根付きのベンチなどを配置し、何度も訪れたくなる空間を作してほしい。 また、新幹線ホームから見える景色も重要となる。 【オープンスペース・連結デッキ】 現在の東口交流センターを美術工芸館または美術館として、新たな機能を加えた整備ができないか。 一関市や岩手県南の伝統文化やゆかりの作品を展示できるような取組を期待している。 【遊歩道】 キッチンカーが入れるスペースや芝生スペースを設けてほしい 夜間の利用も可能となるよう照明設備や街灯にも配慮し、安全確保のため交番の設置も検討してほしい。</p>	<p>ご提案いただいた景観や安全を重視した具体的取組については、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地活用計画作成時の参考にさせていただきます。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
6	1 ページ 2 土地利用のテーマ「空間・機能」 敷地全体の調和と統一性や外観の美しさと芸術性を重要視してほしい。何より全体の景観を大切に。	ご提案いただいた内容については、土地利用ガイドラインを作成する際の参考とさせていただきます。
7	1 ページ 2 土地利用のテーマ「エリアマネジメント」 郊外店とは違う街並みにしてほしい。 また、屋外広告や案内表示などに一定のルールを設けてほしい。	
8	1 ページ 3 配置する機能「施設整備の主体」民設民営の手法 開放的な空間とするため、鍵をかけたり、塀を設置するような建築物には一定のルールを設けてほしい。 また、早期に撤退しないように、契約期間は長期にしてほしい。	ご提案いただいた内容については、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地利用計画作成時の参考とさせていただきます。
9	1 ページ 3 配置する機能「イノベーション創出機能」 一関や岩手、東北の企業の活性化のため、進出企業には未来型オフィスやクリエイティブ機能が整備された設計・デザインなど、先進的な事例を提供してほしい。	
10	2 ページ 3 配置する機能「賑わい創出機能」 【商業機能】 岩手沿岸の海産物や市の餅文化に対応した店舗のほか、地酒(地ビール)、いものこ汁、川蟹料理など地元料理を実際に味わえるオープンスペースを設けてほしい。 【工芸品】 工芸品については、実演と販売を兼ねた店舗の設置を希望する。 さらに、県内の漆工芸や鉄器、和紙、染物、木工などの美術工芸品を展示・鑑賞できる「美術館」の設置を希望する。 【宿泊施設】 一関に宿泊して満足とを感じるような環境(体験型観光やグルメのほかエンターテインメントの企画)を提供し、一関に滞在できる要素を取り入れてほしい。 一関が魅力的な観光地として観光客を滞留できるような工夫をしてほしい。 JRとの連携による共同商品の開発を検討してほしい。	ご提案いただいた商業機能、工芸品については、「賑わい創出機能」のところで「市内で生産される農畜産物、工芸品などの特産品や岩手県南、宮城県北の産地直送品の取扱いなど、岩手県の南の玄関口として人流の拠点に望ましい商業機能を配置したい」としており、この表現の中に含まれていると認識しております。 また、宿泊施設については、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地利用計画作成時の参考とさせていただきます。
11	2 ページ 3 配置する機能「公的機能」 【公園】 滞在したくなる空間・憩いの場づくりは賛成。この地が魅力ある空間にするため、四季の彩り、美的景観をマッチさせた空間にしてほしい。	ご提言いただいた内容を踏まえ、利活用を進めてまいります。 また、土地開発の進展、社会情勢の変化に応じて、コンセプトを見直しながら、最適な土地開発を進めます。
12	2 ページ 4 土地開発の進め方「土地開発事業者の募集」 魅力ある土地、環境、条件などを明確化し、ITなどを駆使した提案を受ける募集内容にする必要がある。 総合プロデューサーと連携し、開発全体のイメージや目的をしっかりと明示したうえで、企業誘致をしてほしい。 KPIを徹底した戦術・戦略を練っていただきたい。	
13	2 ページ 4 土地開発の進め方「市内事業者ニーズの把握」 市内事業者が投入する資本に不安があるため、民民連携あるいは公民連携で事業を起こすことも必要となる。	
14	2 ページ 5 事業スキーム「その他の方法」 成功例がたくさんあるPFIやPPP手法を積極的に活用し、民間の想像力を引き出していただきたい。	
15	2 ページ 5 事業スキーム「管理運営法人」 【法人との連携】 市との密接な連携のもと、必要な人材や財源を投入し、後悔のない結論を導き出していただきたい。 【土地利用計画】 この計画にこの事業の成否がかかっていると云っても過言ではない。是非、市民の夢の実現に寄与していただきたい。	

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
16	<p>1 ページ 1-2 新たなイノベーションが持続的に生まれる場所「優先事業分野」 「新たなイノベーションが持続的に生まれる場所」の優先事業として、「医療者人材育成」を加えてください。</p> <p><理由> 商業施設としての開発は、少子高齢化が進む一関においては、現実的ではないと考える。それよりも高齢化や医療の質が問われる中で、地域に根ざした「医療者人材育成」が近々の課題である。医療人材では特に看護師が不足していることから、看護師の養成が必要であり、「公立の看護系大学（あるいは医療系大学）」の設置が必要である。岩手県内には、県立大学1校、私立の看護系大学2校、県立看護学校3校があり、私立大学は、公立大学に比較して学費が約1.5倍から2倍となっていることから、東北地区の私立の看護系大学は学費面のことも課題となり学生確保が厳しくなっており、加えて、国家試験合格率も全国平均を下回っています。しかしながら、岩手県内の県立看護専門学校等は、国家試験合格率がほぼ100%であることから、看護専門学校の大学への昇格は必至であり、公立の看護系大学（あるいは医療系大学）を通学にも便利な東口に開校する意味がある。</p>	<p>「イノベーションが持続的に生まれる場所」とは、新たな技術、製品、サービスなどを創造し、新たな価値を生み出す産業用地としての意味づけをしたものです。ご提案いただいた医療者人材育成の具体的な取組については、公的機能の一つの案として、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地活用計画作成時の参考とさせていただきます。</p>
17	<p>1 ページ 2 土地利活用のテーマ こども・若者世代が市内で活躍できるまちの実現に賛成するが、公立の看護系大学の設置を前提とすると、「民間活力による開発を基本とする」ことについては、検討していただきたい。また、公民連携による設備整備の公共投資に期待する。</p> <p><理由> 一関市内の高等学校出身者が大学教員として活躍しているが、大学教員として地元で活躍する場を作ることも必要である。公的運営は不可欠です。東北地区、岩手県内の人口構造や 平均所得から考察すると、公立大学法人のような運営形態であることに意義があると考えます。地域での人材育成は公的機関で運営し、将来的に地域貢献できる人材を育成することが有意義と考える。看護師の育成として考えると、一関医師会、県立看護専門学校、一関市との共同人材育成は有意義であると考えます。</p>	
18	<p>1 ページ 3 配置する機能 「イノベーション創出機能」 一関市の人口構造を考えると、商業活動機能よりも、公的な教育機関の創出機能を積極的に進めるべきである。</p> <p><理由> 人口動態が不安定な商業要素よりも、安定が見込める教育的機能を重視した方が良いと考える。東口工場跡地は、駅が近いことで、通勤・通学に便利であることから、岩手県内のみならず、宮城県北からの流入を見込めます。また、交通アクセスが良いということは、講師の招聘にも有効と考える。関東のとある県庁所在地の駅は、一定の時間、学生で溢れており、若者世代で駅が溢れることは、活気ある街づくりには必要と考える。</p>	<p>施設整備の主体については「民間活力による開発を基本」としてしておりますが、公的機能については「公共投資」も必要であると認識しています。ご提案いただいた内容については、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地活用計画作成時の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>2 ページ 4 土地開発の進め方、5 事業スキーム 公的機能の整備については、市も積極的に負担することを考えていただきたい。</p> <p><理由> 公的機能（教育分野）においては、市（あるいは公立法人）としての経営とし、市をあげて教育に力を入れていただきたい。</p>	
20	<p>「提案」 一ノ関駅東口の開発に当たっては、「一ノ関駅を中心としたビジョン策定」を行うべきと考える。</p>	<p>これまで市民や各団体からいただいた意見などを踏まえて、今回策定するコンセプトが、利活用に対する市の考え方であり、現時点では新たなビジョンを策定する予定はありませんが、ご提案いただいた「一ノ関駅を中心とした東西エリアビジョン」については、今後の土地開発事業者募集時の要項等の作成や具体的な土地活用計画作成時の参考とさせていただきます。</p>